



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail [info@tonyamachi.com](mailto:info@tonyamachi.com) 発行/2025年3月31日



企業と大学の就職担当者交流会

## 若者の県内就職促進を目指して 企業と大学の就職担当者交流会を初開催

組合員企業と大学の就職担当者の交流会が2月21日(金)、問屋町会館2階大会議室において開催された。

青森県の主催で行われた今回の取り組みは、学生の県内就職を促進するため大学の就職担当教職員と県内企業の人事担当者が情報交換を行い、大学は県内企業への理解を深めキャリア教育での連携や学生への紹介等につなげ、県内企業は学生の就職活動スケジュールの前半は、各大学より学生の就職活動の動向やキャリアセンターの取り組み

が情報提供された。後半は、企業担当者が各大学のブースを回り、活発な情報交換がなされた。

当日は、組合員企業15社と青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、青森明の星短期大学の4大学の就職担当者ら40名が参加した。

交流会の前半は、各大学より学生の就職活動の動向やキャリアセンターの取り組みが情報提供された。後半は、企業担当者が各大学のブースを回り、活発な情報交換がなされた。

## 参加した企業担当者からは「初めて大卒求人を実施しようと考えていたところなので、非常に参考になることが多く良かった。これから学校の担当者との交流をさらに深めていきたい」と今後の採用活動に意気込みを見せた。

組合では2月4日(火)、5日(水)の2日間、問屋町会館でQOL健診を実施し組合員従業員ら113名が参加した。

QOL健診は2時間で測定・結果通知・健康教育までが行える健診プログラムで、従来の健康診断に比べて短時間で結果が得られ、即座に健康状態について理解を深められる点の特徴。

健診では、口内の状態を調べる唾液検査、内臓脂肪や筋肉量、骨密度測定、運動機能を確認する立ち上がりや2ステップテスト、さらには専用機器を使った野菜摂取量の判



2ステップで運動機能をチェック



健康教育の講義

測定後は健康教育として、メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームなどの生活習慣病を予防するために必要な知識を紹介。その後、参加者に健診結果が手渡

された。参加者は「普段の生活ではあまり健康に意識を向けることが少ないため、この機会に自分の体の状態を見直すことができ良かった」と話した。

組合では今後とも年2回のペースでフードドライブを計画し、協力を呼びかけていく。【とんやまちフードドライブ提供組合員一覧】  
昭産商事(株) 太子食品工業(株)・(株)小田川・(株)伊藤園・コン

## 余剰食品が支援の力に とんやまちフードドライブ

2月12日から1週間、第2回とんやまちフードドライブを実施した。今回は組合員12社から未使用の食料品が計60箱分(約450kg)寄せられ、福祉施設や子ども食堂等に寄付された。



組合員から寄付された食料品

フェックス(株)・ミリオン(株)・リコージャパン(株)・(株)ライフサポート・エガワ東北・青森問屋町配送(株)・大青工業(株)・(有)桂工業・セブンイレブン青森問屋町1丁目店

### 2025年度事業計画 など承認 第9回理事会

2024年度第9回理事会が2月21日(金)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは除排雪費の中間報告や事業計画立案アンケートの調査結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一・2025年度事業計画の骨子について

案件二・事業委員会からの意見について

案件三・労務対策委員会から

### ストレッチチェック制度を学ぶ 問屋町支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会の第36回親睦交流会が2月21日(金)に開催され、同会員ら23名が参加した。

坪谷会長の挨拶に続いて、

(二財)全日本労働福祉協会青森県支部の木村氏による「ストレッチチェック制度の活用」をテーマとした講話が行われた。

木村氏は「現在、50人以上の従業員がいる事業場にはストレッチチェックの実施が義務付けられているが、今後は50人未満の事業場にも対象が広がる予定のため、全ての企業



ストレッチしながら楽しく受講

「現在、50人以上の従業員がいる事業場にはストレッチチェックの実施が義務付けられているが、今後は50人未満の事業場にも対象が広がる予定のため、全ての企業

### 2025年度事業計画立案 アンケート結果まとまる

組合では2025年度の事業計画立案に向けて組合員を対象にアンケート調査を実施し、1331社から回答を得た。

調査結果は次のとおり。

組合員施設の課題について

組合員施設は次のとおり。

「人材採用」が72社と最も多く、次いで「仕入れコストの上昇」が65社と続いた。人材確保の支援策では、「中途採用

経営上の課題については、「人材採用」が72社と最も多く、次いで「仕入れコストの上昇」が65社と続いた。人材確保の支援策では、「中途採用

その後、西堀副会長の乾杯で懇親会が行われ、恒例の一言スピーチでは会員それぞれが「ストレス解消法」について発表して親睦を深めた。

### 著作権セミナーを実施 青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会では、2月26日(水)に問屋町会館において組合と共催で著作権セミナーを開催した。セミナーの講師は、INPIIT青森県知財総合支援窓口の雪田氏が務め、会場とオンライン受講を合わせて20名が参加

雪田氏は「著作権は、著作物を利用する権利を保護するために与えられるもの。申請や登録を必要とせず、創作された瞬間から自動的に発生し、対象は文学や音楽、映画、美術など多岐にわたる」と説明。また、著作権を侵害した場合の法的リスクについても触れ「著作者の許可なく著作物を複製や公開、改変した場合に著作権法違反となり、損害賠償や刑事罰が科される可能性がある」と注意を促した。



著作権セミナー

雪田氏は「著作権は、著作物を利用する権利を保護するために与えられるもの。申請や登録を必要とせず、創作された瞬間から自動的に発生し、対象は文学や音楽、映画、美術など多岐にわたる」と説明。また、著作権を侵害した場合の法的リスクについても触れ「著作者の許可なく著作物を複製や公開、改変した場合に著作権法違反となり、損害賠償や刑事罰が科される可能性がある」と注意を促した。

参加者は「著作権を扱う際に気をつけなければならぬポイントがよく分かり、今後の業務で意識して活用していきたい」と語った。



向上セミナー」を希望する回答が多かった。また、カーボンニュートラルの取り組み状況については50社が実施中、36社が検討中と回答。一方で、自社の温室効果ガス排出量を把握していない組合員は8割を占める結果となった。

向上セミナー」を希望する回答が多かった。また、カーボンニュートラルの取り組み状況については50社が実施中、36社が検討中と回答。一方で、自社の温室効果ガス排出量を把握していない組合員は8割を占める結果となった。

ECサイト24時間365日稼働中！！

気になる方は  
今すぐECサイトへ  
アクセス

**経費削減**

和田ゴム販売株式会社  
TEL.017-738-4395

プロテオグリカン専門店

**アレック**

株式会社 角弘

〒030-8543 青森市新町二丁目5番1号  
TEL 017-723-2222 FAX 017-723-2224

異動の際はご連絡ください

3月、4月は転勤や異動が多い時期になります。会社の代表者や団地内の責任者(支店長や所長等)に変更があった場合、卸センター総務部までご連絡ください。

雪解け後は建物回りの確認を!

雪による外壁や屋根に損傷がないか建物回りを点検ください。損傷が進むと漏水や腐食の原因となるため早めの対応が重要となる。なお、雪害は火災保険で対応可能な場合があるため、契約先の保険会社に確認ください。

経済雑感

第一五七回

日本銀行 青森支店 支店長 益田 清和

前号に引き続き、日本銀行青森支店の益田支店長による経済雑感をお送りする。

昨年7月、新しい銀行券の発行が開始された。前回改刷があった2004年以来、20年振りのイベントであり、昨年末に公表された新語・流行語大賞でもトップテンに選出されるなど、世間でも話題に上った。新しいお札の肖像に採用された洪沢栄一や北里柴三郎は、現在の十和田市(二本木原)の発展にも貢献するなど、当地にゆかりのある人物でもあるので、

フェアトレード新商品入荷

問屋町交流ストア

問屋町交流ストアでは、SDGsの取り組みの一環としてフェアトレード商品の取り扱いを行っている。人気のチョコレートやカ



フェアトレード商品

業務報告

シュリーナッツ等の菓子類のほか、新商品としてチャイパックやココアが入荷。他ではなかなか手に入らない珍しい商品ばかりなので、ぜひ一度足を運んでいただきたい。

主要事項

- 2月
  - 4日▽QOL健診(5日)
  - 7日▽問屋町新年合同厄払い
  - ▽問屋町経営同友会第4回役員会
  - 10日▽第4回SDGs推進管理委員会
  - ▽青森県流通団地連絡協議会合同企業セミナー
  - 12日▽第3回事業委員会
- ▽第2回とんやまちフードドライブ(18日)
- 14日▽第3回環境対策委員会
- 17日▽金融審査会
- ▽第3回企画情報委員会
- 19日▽第4回労務対策委員会
- 21日▽第9回理事会
- ▽青森県 大学教職員と県内企業との交流会
- ▽問屋町支店長・所長連絡会第36回親睦交流会
- 26日▽問屋町経営同友会著作権セミナー
- 27日▽価格交渉講習会
- 18日▽会計・経理の基礎講座
- 27日▽ピンチをチャンスに変える方法

問屋町ビジネススクール



日本銀行 青森支店 支店長 益田 清和 氏

親しみを感じていただいている県民も多いのではないかと。発行開始当初は、「新札をもう入手したか」といった話題が日常会話でもよく聞かれていたが、最近では殆ど聞かれなくなりました。寂しくも感じる反面、逆に言えば、それだけ私たちの生活に新しいお札が馴染んできたことの証左でもあるので、今回の改刷に深く関わった立場としては嬉しく思う。

思い返せば、今から6年前の2019年春、財務省(日本銀行は、5年後をめどに改刷を行う旨を公表した。当時、私は、本店の発

世の中に出回っているお札の量は増えてきており、また、自然災害の多いわが国では、「誰でも、いつでも、どこでも、安心して」使える現金への需要は根強いのが現実である。人々がこれからも変わら

だ、この間、新しいお札が私たちの生活に溶け込んできた様子をの当たりにするにつけ、我々が目指している銀行券の円滑な流通が確保されていることを確認するとともに、ようやく一つのプロジェクトが完遂に向かっていることを実感する今日この頃である。(完)

券局で改刷プロジェクトを担当していた。改刷は注目されるニュースでもあるため、数少ない内外関係者と秘密裡に検討・調整を進めたことが懐かし思い出される。そもそも、世の中でキャッシュレス化が進んでいるにもかかわらず、新しなお札を出す必要があるのか疑問に思う方もいるかもしれない。ただ、この間、

人と大地のハーモニー

**ISEKI**

**ISEKI Japan**

東北カンパニー

青森営業部

〒030-0131 青森県青森市問屋町2丁目 11-23

TEL : 017-738-1331 FAX : 017-738-8834

農業機械販売

／明／日／の／設／備／を／考／え／る／

パッキン一枚からウォシュレット取付  
TOTO和洋リモデル工法、アフターメンテナンスまで  
当社へご相談ください

**株式会社ムラバヤシ**

〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8番27号

TEL (017) 738-4165 FAX (017) 738-1852

**Coca-Cola Michinoku**

Coca-Cola Bottling

本社  
岩手県盛岡市中央通一丁目7番25号 TEL 019-613-6665(代)

青森営業部 津軽支店  
青森県青森市第二問屋町三丁目4番12号 TEL 0172-47-7500

事務機のコンサルタント

**青森精機株式会社**

本社 030-0131 青森市問屋町二丁目12番23号  
TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856

十和田営業所 034-0092 十和田市西一番町10番27号  
TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

学生が地元企業の魅力に触れる  
県団協合同企業セミナー

県内の4つの卸団地で構成する青森県流通団地連絡協議会主催の春季合同企業セミナーが、2月10日(月)に青森公立大学で開催された。同協議会では、県内の各団地や組合員企業の知名度向上、採用機会の拡大を目的に共同求人活動に取り組んでいる。今回のセミナーは1コマ30分で行われ、全4コマ開催して延べ52名の学生が参加した。各卸団地から16社の組合員企業が参加して学生に業界や業務の内容、働き方等について説明した。参加した学生は同大学1階



企業の説明を熱心に聞く学生

交流ホールに設置された企業ブースを回り、メモを取りながら熱心に説明を聞き、「セミナーで興味を持った企業があり、企業見学会などに参加して現場の雰囲気や働き方を知りたいと思った」と感想を述べていた。

価格交渉のテクニックを学ぶ  
価格交渉研修会

2月27日(木)に問屋町会館2階大会議室において「中小企業の皆様に役立つ価格交渉講習会」が開催された。東奥日報社と共催で行われた同講習会には、組合員従業員をはじめ市内外から58名が参加。中小企業診断士の船越誠氏が講師を務め、価格交渉にまつわる最新動向や価格交渉をよりよくするための準備、公的サポートなどについて紹介した。船越氏は「取引ごとの費用や限界利益を把握し、価格の目標値を定めてから交渉に臨むこと。コストアップを理



価格交渉研修会

由に値上げする場合は、原材料価格推移や労務費の上昇率等の統計資料などを用いてコストアップの根拠を示す。統計資料はWEB上で公開されているので活用して欲しい」と話した。

団地企業訪問

「好きな言葉は『一生懸命です』と仕事への熱意を語るのは昨年4月に支店長に就任した橋本総業(株)の堀江支店長。

日本で初めて「水道条例」が施行された明治23年創業の同社は、国の水道事業とともに130余年を歩み、水道事業を軸に水回り住設機器、空調機器へと事業展開。平成28年、会社分割により橋本総業ホールディングス(株)の事業承継会社として新たな一歩を踏み出した。同社のアピールポイントについて伺うと「当社は支店、営業所が全国に41拠点あり、数多くのメーカーとの取引



橋本総業(株) 支店長 堀江 倫氏

を基に、当社在庫及び協力メーカー在庫を合わせて約4万点の商品在庫を保有しております。物流においてはエリア内の指定場所に決められた時間に配送できるダイヤグラム体制をとっているほか、GPSシステムによる配送中のトラック位置を把握して配送の遅れを最小限に抑えています。さらにオンラインシステムで商品の受発注の効率化を図り、お客様の様々なニーズに対応できるデリバリー力を強みとしています」と力強く語る。

また、業界の現状に話が及ぶと「建築資材の価格高騰、書類審査の長期化、リフォール

ム需要の増加など、近年、住宅業界の動向が大きく変化しています。その変化の動向をしっかりと見極めて対応する必要があります」と話す。同社の取り組みについて伺うと「スポーツにも力を入れており、『チームHAT』という名前です。ゴルフやテニス選手を支援しています。直近だと実業団テニスの日本一を競う大会で、橋本総業ホールディングス所属の女子選手が日本リーグ2年連続優勝するなど、大きな大会で活躍する選手が増えてきています」とアピール。

ご自身の今後の目標を聞く

と「管理職として業績を意識した支店運営をしたいと思っています。近年言われている賃金のベースアップについても、やはり企業の業績が伴わなければなりません。今までと同じやり方だと業績は下がると思うので、他社とは違ったやり方がないかと常に考えています」と意気込む。プライベートでは「学生の頃からスノーボードをやっており、雲谷、大鰐、百沢などのスキー場で息子といっしょにウィンタースポーツを楽しんでおります。健康面については飲み会が多いので、体は資本ということを忘れず体調管理に気をつけたいです」と笑顔で締めくくった。(44歳)

編集後記

青森県とのコラボ企画となった大学と企業就職担当者との交流会は、初開催ということもあり非常に熱気あふれる交流となりました。改めてこういった交流の必要性を感じました。新年度に就職担当者のみなさんと情報共有できる仕組みを構築します▼さて、総務省が1月に発表した2024年県庁所在地家計調査の結果が面白かったのでご紹介いたします。よく報道される「〇〇市の〇〇消費量日本一の元データです。青森市は19項目で全国1位となりました。その主なものは、カップ麺(県内スーパーのカップ麺コーナーは物凄く充実しています)、ホタテ貝(むつ湾のホタテですね!)、焼き鳥(よく行きますし、テイクアウト専門のお店も多いです)、ソーセージ(大好きです。よく冷蔵庫に入ります)、コーヒー飲料(農作業休憩のお供です)、果実・野菜ジュース(もちろんりんごジュースですね)、灯油(なくては暮らせません)など。酒類、ビールは、秋田市に次いで2位でした▼逆に全国最下位は、一般外食、喫茶代、まんじゅう、カステラ、ミネラルウォーター、交際費など14項目でした。自分的にもコンビニでコーヒーは買うけど喫茶店にはあまり行かないし、ミネラルウォーターは水道水で十分美味しいからほぼ買わないので納得できます▼この結果から、青森市民はあまり外食せず、自宅で食べられるものへの消費が多いみたいです。仕事帰りに近所の焼き鳥屋さんに寄って焼き鳥をテイクアウトして、帰ってからビールで晩酌!確かにやっています(笑)(小田切)

くらしをもっと快適に  
環境・設備商品の「流通」と「サービス」を通じて皆様の快適な暮らしを支えます。



本社 東京都中央区日本橋小伝馬町14-7 TEL 03-3665-9001  
http://www.hat.co.jp



おいしいお菓子づくりのお手伝い

お菓子とパンの原料専門店

(株) 元木商店

本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061  
八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755